



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
代表TEL：(0567)26-3921
FAX：(0567)26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

老いの姿を学ぶ ~ 愛宕の家の日々より ~ その4

ある日のこと。服を前後反対に着て、平然としているWさんに、「反対だよ。着替えようか。」と声かけをする。自分で直そうとすることがどこをどう直していいかわからず、「分らんようになった・・・ちゃんと服が着れんようになった・・・」と不安そうな顔。最近、ボーっとしてうつらうつらと居眠りする時間が増え、夜中でも朝と間違えて食堂に出たり、外出を誘っても拒む事が多く、毎日の体操等にも気力がみられない。

「手助けするから声を掛けて。」と伝えても素直に声を掛けてもらえず、かといって手取り足取り世話を焼いてしまうと出来る事がどんどん少なくなってしまふ。甘えもあり、時には叱咤激励をして、日々の健康管理(食事・排泄・睡眠)に注意を払う。無理強いにはダメ。かといって、本人のいうままでもダメ。精一杯のプライドを持ち続けながら、自分の老いて行く様を認めて行く過程。その中で介護者がどう関われるか、というお互いの関係性はまるでマラソン走者とその伴走者のような気がする。

共にゴールに達するまでの時を、付かず離れずという距離を維持できたらと思う。ひとりひとりの容態によって完全にあなたまかせで生きている利用者さんとして、その接し方の精神性は「伴走」であり、共に少しでも良い余生を刻みたいという点では人として共通の望みである。

ある人は言う。隣の人が手づかみでご飯を食べようとする姿を見て、「ひどいなあ・・・。でも、俺も最近すぐ忘れる事があるでなあ・・・。」と、入居者同士もお互いの様を見ながら自分の老いを予感しているのだらうと思う。その何とも言えない寂しさは、いつか私にもやってくる。最近、ことのほか老眼が進み、眼鏡を探すことが多くなった。字を読むのも億劫になってきた・・・。これでは駄目だと感じつつ、Wさんの寂しさに寄り添いながら今日を過ごす。(I)

ゲーム感覚/ナイス・デイ

再開決定! ? / ナイス・ホーム



今年の1月17日。地域密着型小規模多機能型居宅介護ナイス・ホームを休止してから、もう半年が経ちます。今年の4月の介護保険法の改正等もあってからか、実は、休止してからもナイス・ホームへの問い合わせが続いていました。また、再開を望んで声にされる方もいます。そこで、やはり意義のある制度だったはずとの確信もあり、スタッフ配置が整い次第、再開しようという話になっています。日程はまだ明確にお伝えできないので申し訳ありませんが、まずは皆様にご報告まで。

タッパーの蓋と器がいつの間にかバラバラになってしまった。これを合わせるのは利用者さんの仕事! ?
どうやら、頭脳をフル回転させる必要がありそうです。大きさは形、そして色合い等の比較をしながら「ちょっと、それ取って・・・。」と真剣に悩みます。終わったあと「あー疲れたあ。」と、ひと伸びしていました(笑)

毎朝・・・/ ナイス・デイ

久々に・・・/ 愛宕の家

目的があればこそ/ ナイス・デイ



利用者さんと介護＆看護スタッフがテーブルに集まって確認作業を行います。朝の15分間ミーティング。各々が、今日の体調、気分、何に気を付けたいか等々、様々な意見が飛び交います。訴えが多い程良い!! 介護する側・される側関係なく、同じ目線で話をしましょ



先月末頃からメキメキと体調が安定してきた入居者さん。活気が出てきて、現在では、大きな声出し大会をやったらトップに躍り出そうな勢い。「前は、よう書いたなあ。」と話しながら習字の筆まで持てるようになっていきます。教室を持っていた程の腕前。「さすがだなあ。」と他の入居者さんも惚れ惚れしてました。

通所介護の外出は、単なるお遊びやお楽しみでは通用しません。何故って? 国民の血税を使っているんですもの。介護保険を利用して、少しでも健康を維持してもらえようという努力が見られなければ意味が無いと判断されてしまうのです。ナイス・デイでは、年間の行事や外出先を設定するのはもちろんのこと、機能訓練という“やらされる動き”ではなく、活躍の場という“自発的に行う行為”の場面をいかに作れるかを課題としています。外出時には、歩ける利用者が車椅子を押すことが多々あります。「わしでよかったら押して歩いたよ。」という利用者さんの意欲を大切にしたいと考えながら、負担がかり過ぎないようにフォローします。

年齢に関係なく、自分が存在する価値を感じれる時って必要です。



早く!! / 託児

お昼ごはんの後、歯磨きをしていた利用者さんを子供たちが急かします。「ねえねえ、早くこち来てよお、何して遊ぶのぉ」「ほいほいちょっと待って、今行くよ。」と嬉しそうに応える様子が微笑ましい光景です。泣き喚いて迷惑掛けることもあるけれど、子供の存在が励みになることも多いので許して頂戴。子供達の成長が楽しみです。

研修/ S.O.S

毎年、研修計画等を見直して作ります。忘れないように事務所の書類庫には貼紙がいっぱい!! 事業所としての計画は、4月開始の1年で考えるのに、情報公表制度では、調査を受けた日～次回の調査を受けるまでの1年間に何をしたらかが重要。何でかなあ～?? ?

でも、事業所として沢山の課題を達成するために、社内研修は毎週行っています。

この日は、緊急時の連携体制を確認する等、マニュアルを基に再確認。新人さん、ノート片手に頑張ってます。



テーブル囲む/ 愛宕の家

愛宕の家では、なるべくならベッドに居る時間を少なくして過ごしてもらいたいと考えています。でも、「起きとんでもひとりじゃ寂しいでなあ・・・。」という様子も伺えたので、それじゃあと皆が集える場所作りに取り組んでいます。通り過ぎるスタッフに声を掛けたり、声掛けられて応えたり、忙しくて寂しさなんてどこ吹く風?



編集後記

晴れた日の朝、愛犬の散歩をしていたら近所のおじさんが花に水やりをしながら家の中にいる家族(奥さん?)に向かって喋っていました。「悪いなあ、お前さんの好きな仕事取っちゃって・・・。これくらいでもやらずに足が動かなくなってしまうで。まあ、俺が怠けてやらん日が出てきたら怒らずに、ラッキーと思ってやってくれな。この距離でも結構キツイだよ、・・・。」挨拶だけして通り過ぎましたが、介護職に就くものとして、痛いところを突かれた気がしてなりません。障害を持つことになった人に、「頑張る!!」や「もう少し!!」という言葉掛けはどう捉えられているのでしょうか。でも、この会話ができる家族関係って素敵だなあ。(H)